

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月7日

文部科学大臣殿

国立大学法人大阪大学 学長
西尾 章治郎 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	大阪大学		②所在地:	大阪府吹田市山田丘1-1				
③課程名:	大阪大学大学院医学系研究科科目等履修生高度プログラム「在宅医療の充実における看取り向上のための検案能の涵養」		④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム		⑤開設年月日:	2016年4月1日	
⑥責任者:	松本博志 教授		⑦定員:	10名		⑧期間:	1年	
⑨申請する課程の目的・概要:	多死社会において不足している死因診断の能力の育成を目的として、科学的なエビデンスを元に正確な死因診断を行い看取りを向上させるとともに、死因究明の課題解決に向け研究を行う							
⑩4テーマへの該当の有無	無		⑪履修資格:	医師免許を有している者				
⑫対象とする職業の種類:	医師							
⑬身に付けることのできる能力:	(身につけられる知識、技術、技能) 死因に関する知識、死因診断の考え方、死体所見の読み方、死後画像所見の読影			(得られる能力) 死因診断能力 正確な検案能力				
⑭教育課程:	「死因診断学総論」により、死因究明の必要性を理解し所見の読み取りと診断へのプロセスに関する基礎知識を習得します。「死因診断学各論I」、「死因診断学各論II」においては、内因死、外因死の死因機序と病態等に関する知識や死因別の死後画像所見と解剖所見を理解します。また、「死因診断学実地演習」では、実地修練で自ら検案し診断する能力を身につけます。							
⑮修了要件(修了授業時数等):	8単位以上							
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書							
⑰総授業時数:	8	単位	⑱要件該当授業時数:	8単位	該当要件	1,2,3,4	⑲要件該当授業時数/総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	出席(演習は全出席)を満たした上、課題レポートの審査に合格した場合に修了する。							
㉑自己点検・評価の方法:	自己点検、評価を行うため、連携推進会議を設置する。受講者、受講者所属機関等にアンケート調査等を行い、授業で改善すべき点、修了後のキャリアアップに本プログラムが及ぼした影響等を調査し、プログラムの点検、評価を行う。							
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者及び受講者所属機関等にアンケート調査等を行い、修了後のキャリアアップに本プログラムが及ぼした影響等を調査し、連携推進会議において教育効果等を検証する。							
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成、自己点検・評価) 自己点検、評価を行う連携推進会議の構成員に、大阪府監察医事務所の担当者を含む等、連携機関の意見を反映できるようにする。また、連携推進会議において、監察医等から意見聴取や討論会を行い、監察医等の意見を教育課程の編成、自己点検、評価に反映する。							

②④社会人の受講 しやすい工夫:	土・日・祝日や長期休暇期間における集中開講
②⑤ホームページ:	(URL) http://www.legal.med.osaka-u.ac.jp (12月下旬公表予定)

事務担当者名:	安藤 悠希	所属部署:	大阪大学医学系研究科教務室教務係
連絡先:	(電話番号) 06-6879-3017 (E-mail) i-kyomu-kyomu@office.osaka-u.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。